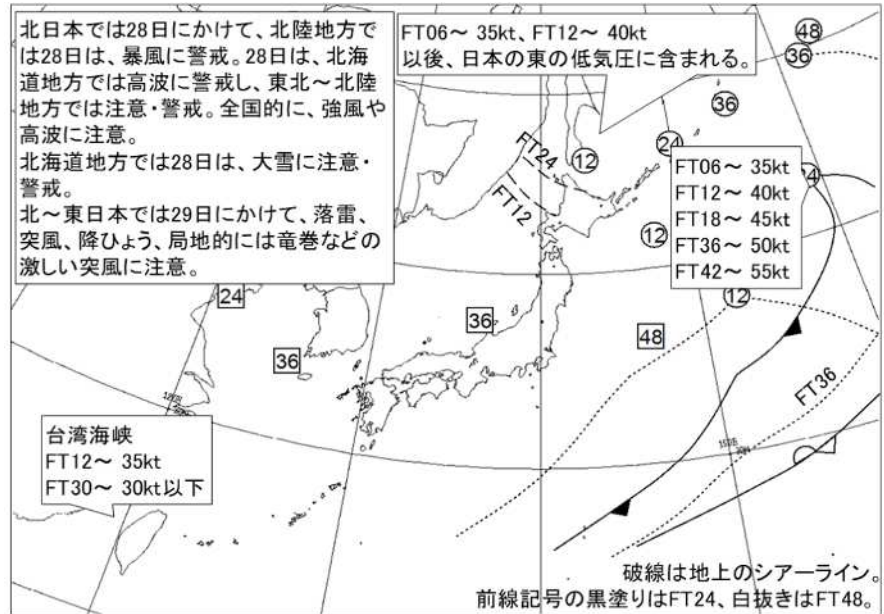


1. 実況上の着目点

- ① 前線を伴う低気圧が日本の東を東進し、前線が伊豆諸島付近へのびている。上空には乾燥空気が流れ込んでおり、対流活動は不活発となっている。
- ② 500hPa5400m付近、5520m付近、5700m付近のトラフが、位相を合わせて中国東北区～黄海付近を東南東進。

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 28日にかけて、1項②のトラフは深まりながら北日本を通過し、千島の東～日本の東へ進む。28日日中には、千島近海で寒冷



主要じょう乱解説図

渦が明瞭化する。500hPa5700m付近のトラフに対応して、日本の東の低気圧は急速に発達しながら北東進し、28日夜には千島の東へ進む。また500hPa5520m付近のトラフに対応した低気圧が、27日夜には北海道東方海上で発生し、発達しながら千島近海へ進む。日本付近は、これらの低気圧や前線と大陸の高気圧により、西高東低の気圧配置となる。

② 2項①の西高東低の気圧配置の影響で、気圧の傾きが大きくなり、非常に強い～強い風が吹き、波が高くなり、大しけやしけとなる所がある。また、500hPaで-36℃以下、850hPaで-9℃以下の寒気が北海道に流入する。北日本を中心にこの時期としては強い寒気が流れ込むため、大気の状態が非常に不安定となって雷を伴う降水が強まり、大雪となる所がある。また、27日夜から28日にかけては、日本海北部に形成されるシアラインの影響で、北海道地方では局地的に風や降水が強まることに留意。北日本では28日にかけて、北陸地方では28日は、暴風に警戒。28日は、北海道地方では高波に警戒し、東北～北陸地方では注意・警戒。全国的に、強風や高波に注意。北海道地方では28日は、大雪に注意・警戒。北日本と北陸地方では28日にかけて、落雷、突風、降ひょう、局地的には竜巻などの激しい突風に注意。

③ 2項①の高気圧は、28日夜には黄海付近に移動し、別の高気圧が日本海で顕在化するため、西高東低の気圧配置は西から緩む。29日は、日本海の高気圧は日本の東へ移動する。500hPa5400m付近のトラフに対応した中国東北区の低気圧との間で、日本付近は広く下層暖気移流場となる。このため、大気の状態が不安定になる所がある。北～東日本では29日は、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点

総観場はGSMを基本、量的予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項〔量的予報等〕

- ① 雨量(18時からの24時間)：多い所(100mm以上)はない。② 降雪量(18時からの24時間)：北海道40cm。③ 波浪(明日まで)：北海道6、東北・北陸5、伊豆諸島・近畿4、その他広い範囲で3m。

5. 全般気象解説情報発表の有無

発表の予定はない。